

会議録

件 名	令和7年度 第3回丹波市立文化ホール事業推進会議
日 時	令和8年1月30日（金） 19:30 ～ 21:00
場 所	春日住民センター 小会議室
出 席 者	[委 員] 角悟会長、吉良哲也副会長、荻野義雄委員、田邊利典委員、 廣瀬ゆかり委員、柴原希穂委員、中出靖大委員 吉見美佳委員 （※欠席：梅谷浩子委員） [オブザーバー] 一般社団法人ネクストゼロ 代表理事 長井 誠 [事務局] 文化・スポーツ課長 堂本 祥子 文化・スポーツ課芸術文化係 係長 見田 晋介 同 主事 瀬頭 史勇
【会議要録】 1 開 会 ・会議の成立 （事務局） 委員9名中8名の出席により、会議成立（2名会議途中より参加） （欠席委員については、事前連絡あり） 2 あいさつ 会長 3 報告事項 以下、議事進行を会長に依頼 —傍聴者の確認— （事務局） 一般傍聴者ならびに報道機関の申込みなし —会議の公開等の確認— （会長） 丹波市立文化ホール事業推進会議に関する運営要綱第2条より、会議の公開又は全部若しくは一部の非公開について諮る。本日の議事においては、個人情報に関するものはなく、丹波市情報公開条例に規定される不開示情報はないため、公開とする。 【委員からの異論なし】 ① 前回会議録の確認 —資料により説明— ② 令和7年度事業進捗状況 （事務局） —資料により説明— 前回会議からの変更点（赤字）を中心に説明。 （会長・委員）特に意見なし ③ ホール運営業務委託に関する進捗状況 （事務局） —資料により説明—	

(文化ホール運営事業者)

委託も丸2年になりました。1年目はまだ手探りのなとこがあったが、高校生との繋がりがしつかりでき、ギター部との繋がりも非常に安定してきました。

高校の先生のご理解もあり、次々と、引き継ぎ、つなげていくような取り組みとして、学校の方もとらえてくれているので、非常にありがたいです。

3年生になり、卒業すると、ふるさとを離れたりするので、私は来年度、「おかえりスタッフ」というものを考えている。旅費を出すので「帰って来いよ」というような取り組みもしたいです。

子供たちに、故郷を離れても、そういう繋がりを何とか持っていきたいなというふうに考えています。

オペレータークラブ ZERO-IVのリーダー研修、ビギナー研修の方も、継続的にやっています。リーダーの方は、3月末で一旦、人材としては、リーダーが育ったというところで、4月からは、リーダーとして5人、我々と同じような目線で対応してもらい、ホールを盛り上げてもらうようお手伝いいただくような形で従事していただくような形に今回、来年からシフトしていくというふうな動きをとるつもりです。

4 協議事項

①令和8年度事業計画(案)

(事務局)

—資料により説明—

(委員)

大型公演の情報解禁日はまだということですがいつ頃になりますか。

(事務局)

チケットの販売が2ヶ月前になるので情報解禁は3ヶ月前で4月初旬です。

②各所属団体との意見交換

(事務局)

—資料により説明—

(委員)

丹波市文化芸術推進基本計画の基本理念とかきちゃんと書いてある冊子をいただきました。こういう考え方で進めているのですね。専門的なことなので、10年ということですが、10年でも短いと思います。

長期的に考えていくテーマではないかと思います。文化芸術や趣味、生きがいなどは、行政の業務の中ではちょっと後回しされるかもしれませんが、すごく大事な事だと思っております。

裏方もさせてもらって、何かで学ぶとか、大事なことが市民の方に、長期的な感じで浸透していったらいいかなと思ながら活動していますが、先般いただきました兵庫県の「ともしびの賞」もやっぱり、30年という文化ホールの歴史の中で、私はボランティアさせてもらって、大変ありがたいです。

25年ぐらいで、30代なる前ぐらいからです。継続というのがものすごく大事だなと感じております。

10年経ったときにこれに代わるものが生まれればいいかもしれませんが、何かいろんなジャンルの方の意見を集約して、文化芸術以外の意見も聞いて広がっていったらいいなと感じております。

学校の方からもお話しただけたらと思います。

(委員)

私中学校の教員としてと、この会議は、丹波市の吹奏楽連盟の事務局の立場として参加させてもらっています。

来年9月から休日の学校での部活動がなくなります。令和13年から部活動というものが中学校からなくなります。今の中学校1、2年生はそれを全く知らないまま部活動に所属しています。来年度9月からは土日今まで通り学校に来て部活動をしなくなる予定です。

今、中学校の教員の中で希望者をつのって、新しい認定地域クラブでの活動ができるように、

今、吹奏楽を活動している子たちの活動場所がなくならないようにしていこうとしています。地域展開という形で考えています。スポーツに関しても同じになるので今日までが地域団体の募集の締切になります。また2月から第2次募集もされると聞いています。

(会長)

先生が顧問をされることがもうなくなるのですね。スポーツに関しても、そのスポーツをされてない先生でも顧問をしなくてはいけない、そういうことがありましたものね。

(委員)

今は、子供たちの数が減少していくのにあたって、学校の部活動のチームの人数が集まっていない学校もありますので、地域移行になれば、人数も集まるし新たな友達関係もできますのでメリットもあります。今のところは中学校の教員で地域クラブを立ち上げようかという話になっています。立ち上げる側も手探りで、最初が大変ですね。

(委員)

受け入れ側は昼間ですよ。夜こどもさんに来てくださいとは言えないですよ。受け入れる団体や指導する方もその辺がちょっと不安ですね。

(委員)

活動の時間などは、受け入れ団体にお任せすることになっていますが、子供たちは今の部活動をイメージしていますので平日昼間ですね。

(委員)

コーラスは、大体夜やっています。こどもさんたちとなると、場所が遠いと難しいですね。そのこどもたちが行く手段があればいいですが。

(委員)

一応保護者送迎というかたちでお世話になることになっています。丹波市は交通の便が悪いので、送迎できない家庭は難しかったりします。お金の面でも難しいところには補助が出るというふうに聞いていますが、ですけどその補助がどのくらい出るのか、こういった形でいいのか一切決まってないです。

(委員)

私は、文化協会に会に出席させてもらっています。実は文化協会の総会とかイベントなんかで、教育長さんが中学生を受け入れて、ぜひ高齢化の中で若い方を入れてもらって、活性化してくださいとの話でした。私が今所属している春日の文化協会の方でも、役員の中で中学校の生徒を、文化協会のいろんな部会の中で、受け入れられるものがないかっていうことを、模索しようかなという話は、出ていますが、具体的にはまだ、全然進んでない状態です。

今お話があったように、昼間とか夜とかいう時間帯に、その子供たちが、もし何かやりたいとなっても、来てもらえるかどうか大きな問題です。

私は文化協会の中で、民謡保存会をしています。確かに、会員も少なくなっているし、何か若い人なりにできればもっと中学生でも、30代でも来て欲しいなという気持ちもあるのですが。

今の子供たちは、日本このゆったりとした感覚よりも、もう少しリズムがあるようなのに、すごく憧れがあり、なかなか、来てくれないのではと、否定的かもしれないけども思っています。

(会長) 例えば出前的な講座をするのに学校を使わせてもらってするっていうことは可能でしょうか。

(委員)

今、市教委のほうからは校舎内はカギの貸し借り等が難しいのでという回答をもらっています。

(会長)

部活がなくなっていくのはちょっと寂しいですけど、こどもの選択肢が増えて、地域の人たちと一緒にするのはいいことなので、これに続くように、私たちも、手助けできることがあればと思います。全国的に初めてのことでこれからどうなるのかわかりませんね。ボランティアの方とか、手を挙げてくれる方がたくさんほしいですがなかなか難しいかなと思います。

小学校のほうはどうですか。

(委員)

小学校音楽研究部です。中学校の部活動のこととは小学校は違うのですが、小学校も児童数は、減っていて、キーワードは持続可能と継続と思います。持続可能と継続するにも、地域は高齢化していく子供が減少していくので本当に、持続していくのは難しいです。

ただ選択肢も本当に多くて、こどもたちの中でダンスに通っている子は結構多いですが、小学生なので自分だけでは行けないので、中学生の話で保護者送迎とおっしゃっていましたが小学生は特に、親の送迎が無ければできない。子供だけの思いだけではできない。野球やバレーも昔なら、各小学校ごとにあって送迎の必要がなかった。今はいろいろ選べて幸せな反面、できることもと、親の都合でできないこどもにわかれます。

文化的な活動としましては、丹波市では小学校6年生が集まって連合音楽会をやっています。コロナ禍でなくなったのですが前の校長先生が復活させてくださってあと引き継いでいます。隣の丹波篠山市は、コロナ禍で検討してなくなっています。兵庫県みんな集まっても、毎年このようにしている地域は少ないので貴重です。6年生はその年しかないですし、丹波市の歌の披露もあるので、どうにか続けたいなあという思いで突き進みたいです。

(委員)

さきほど、会長が言われたように、放課後、学校開放していただけたら、はじめの一步などの体験講座ができればいいと思います。

事前に周知して、中学生が残って、その講座にどこかの教室で参加できるようなことであればお互いに負担がないと思います。場所や、環境というのはすごいネックになっています。だから、地域内で移動できる範囲でこどもができる体験などがあれば、こどもにも経験を積ませることができのではないかなと思います。

友達と誘い合って参加できるっていうようなことを、こちらからアプローチできたらすごく効果的で有意義な時間になると思います。

年に何回でも、ホールの運営事業者がされているPA講座も、どこかの学校で、中学生を対象にしてももらえたらいいですね。導入として、今あることをつなげていったら、何かできるのではないかなと思います。今の部活動のように、毎日毎日、継続的にやるのはこどもも、指導者の大人もお互い負担になると思いますので、こういう体験的なことを学校や、近所でできたら負担が無くていいと思いました。

(委員)

大型公演は、大体土曜日開催が多いように思うのですがどうですか。

(事務局)

今回土曜日が多いですけども、相手先のプロモーターさんと相談させていただきながら決定しています。大型公演はツアーを組んでおられたり、そういった事情もあつたりしますので、特に土曜日に決めているわけではありません。

5 その他

① 委員の推薦依頼について

(事務局)

—資料により説明—

② 次回開催予定

令和8年7月下旬予定

6 閉 会 副会長